

## 日本 IR 協議会 「“共感!” IR 賞」を受賞

日本酸素ホールディングス(株) (社長 CEO : 濱田敏彦) は、一般社団法人 日本 IR 協議会が選定する IR 優良企業賞 2023 において、「“共感!” IR 賞」(以下、共感賞) を受賞しました。

「共感賞」は、積極的な IR 活動を共有し、ベストプラクティスの実現をめざすことを目的として 2020 年に新設された賞です。2023 年のテーマは「IR 部門の人材育成とパワーアップのための取り組み」で、IR 優良企業賞 2023 の応募企業のうち、「共感賞」にエントリーした 199 社による互選投票の結果、当社を含む上位 21 社が選定されました。



当社では、あらゆるステークホルダーの皆さまとの代表的なコミュニケーションツールとして、統合報告書を積極的に活用しています。部門横断的に組織化した「統合報告書製作委員会」(ヘッド: 常務執行役員 財務・経理室長 兼 CFO 委員: 20 名程度) が中心となって、グループの事業会社各社と協力して、執筆・編集を行っており、作られた統合報告書を社内外に向けて周知・説明しています。

社内向けでは、経営トップによるタウンホールミーティング、紹介動画、社内報や人事部主催の階層別研修などの機会に周知・説明を行っています。また、社外向けでは、10 社を超える国内外の機関投資家との自主的なフィードバック面談、ウェブサイト上での読者アンケートを実施しています。こうした活動を通じて得たコメントを、翌年以降の製作活動に活かしていく改善サイクルを回しています。

株主・投資家を含む、あらゆるステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを通じて得た、学び、知見、要請を、取締役、事業責任者と情報共有し、ディスカッションを行うことで事業運営に反映させています。2022 年 4 月から、社長 CEO が四半期ごとの決算電話会議でスピーカー及び主な質疑応答者を務め、また、同年 12 月から、常務執行役員 サステナビリティ統括室長 兼 CSO がスピーカーを務める「サステナビリティテーマ IR カンファレンス」を開催する等、資本市場の皆さまとの定期的な接点を設けるように心がけています。

そのような活動を通して、グループ内の結束を強め、あらゆるステークホルダーの皆さまと建設的に対話する姿勢に応募企業、審査員から共感が寄せられ、今回の受賞に至りました。

当社は、株主・投資家の皆さまとの信頼関係の構築を目指し、さらなる対話の充実を図っていくことで、中長期にわたる企業価値の向上に努めていきます。

IR 優良企業賞の詳細は日本 IR 協議会ホームページ (<https://www.jira.or.jp/>) をご覧ください。

以上

---

日本酸素ホールディングスグループは、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの 4 つの地域で 30 超の国と地域をカバーする世界第 4 位の産業ガス、電子ガス、医療用ガスのサプライヤーです。また、サーモス事業では、世界 120 カ国以上に THERMOS ブランド製品を供給しています。1910 年に日本酸素合資会社として設立されて以来、当社グループは、革新的なガスソリューションを通じて社会的価値を創造し、産業の生産性を高め、人々の豊かで健康な暮らしとより持続可能な未来に貢献することを使命としています。19,000 名以上の従業員を擁する私たちは、"The Gas Professionals"として、“進取と共創。ガスで未来を拓く。”という同じ目標を掲げています。

お問い合わせ先

**日本酸素ホールディングス株式会社**

広報部

03-5788-8513